伊丹ならではの特色ある教育

本市は、江戸時代に酒造りを基幹産業として発展し、町民文化が栄えた土地であり、多くの文人墨客が集い、「也雲軒」で俳諧に親しんだ。さらには、“東の芭蕉、西の鬼貫”と称される上島鬼貫の生誕の地でもある。現在でも、その精神を受け継ぐべく、日本三大俳諧コレクションの1つと称される公益財団法人柿衛文庫を有し、「ことば文化都市伊丹」の創造を目指した諸施策を推進している。

今後、本市が持つ活発な市民力・地域力、固有の歴史・伝統文化、豊かな自然・風土、個性的な文化・社会教育施設等を活用して、「ことば文化」や「なぎなた」をはじめとする芸術・文化・スポーツの振興等、「伊丹ならではの特色ある教育」を一層推進する。

1 ことば文化都市伊丹の創造

「ブックスタート事業」や「学校図書館活性化事業」をはじめ、「ことば科」や「ことば文化科」等の伊丹市独自の教科や「伊丹・本の杜ことば蔵まつり」等を通して、「ことばと読書を大切にす教育」を推進する。

また、すべての市民のライフステージに応じた「ことば文化都市伊丹」の創造を目指すため、「伊丹のまちは大きなひとつの図書館」をコンセプトとする「伊丹・本の杜構想」の実現に向けて、その拠点施設である「ことば蔵」等市立図書館と学校図書館等との連携協力を推進する。

2 地域の特色を活かしたスポーツ競技の振興

酒造業で栄えていた伊丹のまちを自衛するため設立された私設道場が、日本三大私設道場の1つと称される公益財団法人修武館である。ここで培われた「なぎなた」を市民共有の財産として、内外に発信するために、第11回全国高等学校なぎなた選抜大会の開催やなぎなた教室の充実に取り組む。併せて、「新伊丹市生涯スポーツ振興基本計画」に基づき、伊丹発祥の「いたっボール」等、地域の特色を活かしたスポーツの振興に努め、市内外に発信・普及する。

3 地域の特色を活かした芸術・文化活動の振興

本市の公民館・図書館・博物館等の社会教育施設や文化財保護関係団体をはじめとする豊かな市民ボランティアの力を活かした伊丹ならではの文化活動を推進する。また、小学校ジュニアバンドクラブ・中学校吹奏楽部等、全国レベルの部活動を支援する。

4 伊丹の歴史と伝統を活かした教育の推進

「過去」から「現在」へと、伊丹に連綿と続く教育の歴史をひもとき、先人の歩みに学ぶために、「伊丹市教育史学校教育編」の活用を進める。11月の文化財保護強調月間に行う「歴史・文化が醸し出す伊丹ロマン事業」では、国史跡「伊丹廃寺跡」や昆陽池等を造営した「行基」等、古代伊丹を顕彰し、アピールするとともに、市の歴史や文化を活用した事業を推進する。

5 市民力を活かした教育の推進

本市では、小学校区ごとの地区社会福祉協議会等、中学校区ごとのすこやかネット事業、また、NPO等による市民活動、PTA活動等が活発に行われている。また、社会教育施設では、市民の参画と協働をさらに進めるため、コーディネート機能を充実し、学習の成果を発揮できる仕組みづくりに取り組む。さらに、地域・学校・家庭が一体となって、社会総がかりで学校の教育活動を支援する「学校支援地域本部事業」、「土曜学習事業」を推進する。